



遠藤 初美 先生

みんな気楽に
おいでくだ
さい。

いきいき健康アドバイス

みんなを元気に!

… お年寄りや子どもの集いの場に …

今回は、遠藤接骨院の遠藤初美先生に、お話をうかがいました。

開業ときっかけは

平成3年5月の開業当時、白鷹町には女性の柔道整復師がいなかったため、女性の立場で開業しました。

女性の患者さんの病状は

長い間の日常生活や仕事によるむぎの痛み、腰の痛みで来られる方が多くいます。

これから気をつけることは

特に女性の方は、家事や子育てをしながら仕事もしており、男性の方より体が疲れているようです。これからは、体をいたわってもらいたいです。

女性の接骨院としての役割は

女性の患者さんには、いろんなことを話してもらえよう、話し相手になるように努めています。

これからの接骨院と社会の関わり方は

接骨院にはいつもいますので、高齢者や小さな子どもの学童保育的な役割も担えるよう、みんなが気楽に通えるような場所であることが大事であると考えています。

高齢者の居場所づくりは

高齢者の心と身体のケアを心がけていきたいと考えています。そのため、接骨院としてだけでなく、集いやすい場所としての取り組みをしていきたいです。そのための足の確保が課題です。

町や議会に望むこと

町の事業について、わかりやすく情報発信をお願いしたい。デマンドタクシーの土曜日の試験運行をしていたことを知らない人が多く、利用できなかったという話があります。議会では、町民の視点に立った提案を大事にし、行政への提言を多くやってほしいです。

取材を終えて

女性の立場から見た身体の疲れ方が、男性とは違う事を改めて知らされました。接骨院を集いの場という考え方は、高齢化社会において大事な視点であると感じられました。(奥山)



マスコットのミニ

広報委員

委員長 奥山 勝吉
副委員長・編集長 佐々木 誠司
委員 石川 重二
委員 笹原 俊一
委員 渡部 善美
印刷・梅津印刷

編集後記

▼平成最後となる本格的な冬がやってきました。今定例会では、昨年のような大雪に備え、万全な体制で除雪に望むために、除雪費が増額になりました。

雪が融け、暖かくなる頃には新しい時代がやってきます。我が町にも、更に明るい光がそそぎ、さわやかな風が吹くことを願います。

▼アンケート菓書を添付いたしました。議会への、または本誌をお読みになつてのご意見やご感想をお聞かせください。皆様の声を参考に、開かれた議会、そして読みやすい『議会だより』となるよう、広報委員一同努めています。(佐々木)

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

